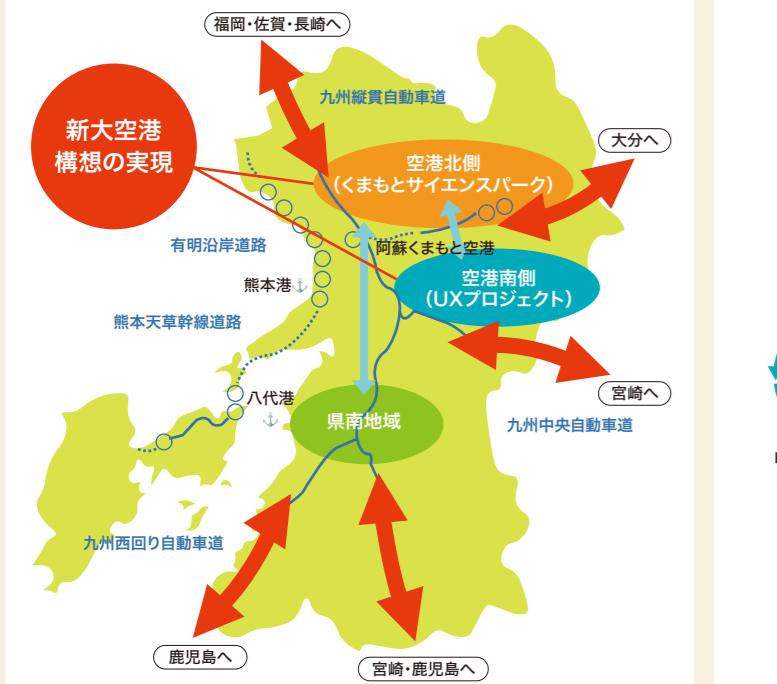


将来展望

県内全域への波及



- ▶ 空港の南側で進むライフサイエンスをテーマとしたUXプロジェクトとの連携も見据えて展開。
- ▶ 中九州横断道路の整備完了を見据え、県南エリアにも波及効果が及ぶよう長期的、広域的な取組みとして今後拡張を図る。
- ▶ 九州地域戦略会議が「新生シリコンアイランド九州グランドデザイン」で示した「イノベーション・マルチバブ」のビジョンのとおり、今後九州各地で整備が進む各拠点と連携。
- ▶ 東アジアにおける代表的な産学官連携拠点を目指す。

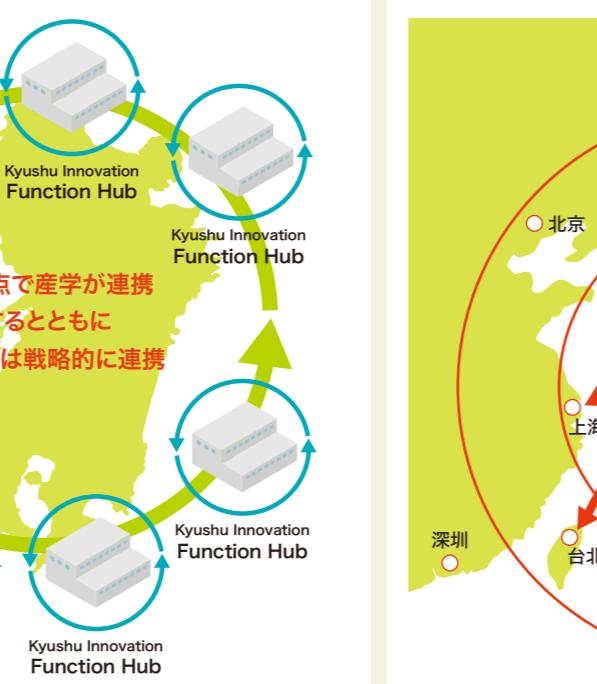
熊本県企業立地課

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18-1
TEL096-333-2329, 2330
FAX096-385-5797
E-mail:kigyouricchika@pref.kumamoto.lg.jp

熊本県東京事務所 くまもとビジネス推進課

〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-16
銀座熊本館3階
TEL03-3572-5022 FAX03-3574-6714
E-mail ginzakumamoto@pref.kumamoto.lg.jp

九州内の連携



東アジアを代表する拠点



熊本県 企業立地のご案内

Kumamoto Science Park



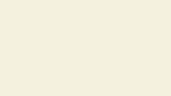
九州の真ん中



企業立地ガイド KUMAMOTO

URL <https://www.kumamoto-investment.jp/>

熊本県出身の書道家 武田双雲氏が、「熊本の人と自然が持つパワーと優しさ」をイメージして書いたものです。
熊本県は、常に企業の皆様の立場に立って、企業の皆様から「選ばれる熊本」になれるよう企業誘致に取り組んでいます。



くまもとサイエンスパーク推進ビジョン(概要版)

趣旨と位置付け

令和5年3月に策定した「くまもと半導体産業推進ビジョン」や令和5年10月に策定した「新大空港構想」では、熊本県が目指す姿として「安定した半導体人材の確保・育成」、「半導体イノベーション・エコシステムの構築」、「交通ネットワークの構築」、「産業力の強化」などを掲げている。

このような本県が目指す理想の姿を実現するため、台湾のサイエンスパークを参考としつつ、自然環境と調和したさらに良い、熊本に合った形での施策が、「くまもとサイエンスパーク」であり、これを具現化し、本県が目指す理想の姿を実現するために、本ビジョンを策定。

くまもとサイエンスパーク 5本の矢

01 半導体関連企業や半導体を使うユーザー企業の集積

半導体関連企業に加え、AI、自動運転、ロボット、遠隔医療など社会実装が期待される半導体ユーザー企業を誘致。

02 新たな産学官連携拠点「イノベーション創発エリア」の整備

理想的な産学官連携の受け皿となる新たな拠点整備を「官民連携」で取り組み、イノベーションの創発拠点を目指す。

03 「パークマネジメント法人」の設立

新たな拠点では賃貸をベースとし、土地やワンストップサービスを提供する「パークマネジメント法人」を設立。

04 半導体人材育成に特化した大学・研究機関の誘致

半導体人材育成に特化した、この分野でオンラインの地位を確立できる世界に類を見ない大学または学部の立地。

05 学生・企業・研究者が共同で利用できる施設の整備

半導体製造の基本を学べるクリーンルームなど共同利用施設を整備。

くまもとサイエンスパークを支える施策

生活・住環境の充実

交通をはじめとする 関連インフラの充実

物流機能の向上

地域のための共同研究

国家戦略特区の活用

公共交通が整備された地域を中心に住宅、サービスアパートメント、ホテル、商業施設、飲食店、インターナショナルスクール等が立地できる環境整備を推進。

今後の交通需要の変化を注視しながら、基幹となる道路ネットワーク強化に取り組み、自動運転バス、BRT、新たな大量輸送システムの導入、鉄軌道の充実化等の検討を進め、公共交通機関へのシフトを図る。

門前倉庫、保税倉庫、危険品倉庫等の設置・運営を担う企業の誘致とともに、港湾関係者や企業も交え、効率的な供給体制の確立・輸送コスト削減、八代港・熊本港の新規航路の誘致などにより物流機能を向上。

企業が求める技術のみならず地域活力が向上するような新技術創出と社会実装により県全域への波及効果を拡大。

国家戦略特区として人材育成の取組強化、産学官連携の推進等に対し規制緩和等を積極的に活用。

くまもとサイエンスパークの基本理念

(1) 分散型サイエンスパーク

半導体関連企業が集積し、周辺で工業団地整備や住環境整備が進むセミコンテクノパーク周辺地域において、必要な機能を複数の拠点で分担する「分散型サイエンスパーク」を目指す。

(2) 周辺開発に関する対応方針

本ビジョンに即した土地利用を誘導していくため、地区計画制度等を活用し、県及び市町で連携して手続き等を進め、くまもとサイエンスパークの充実・拡充を図る。

